

## SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

新規

事業者名: 株式会社ユーマートクナガ

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																						
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内内で共有、実践している。	●		・経営理念を社内に掲示して、会社のあるべき姿や経営方針を朝礼や会議で、定期的に従業員と共有を行っている。 ・総会や定期会議により、会社のあるべき姿の実現に向け、困難を克服し、新しい事業に挑戦する文化が形成されている。								8	9														17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令遵守の規程とマニュアルを整え、法令遵守の重要性を、全従業員に向けて発信している。 ・コンプライアンス研修を実施し、従業員への啓発を行っている。																						16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・会社として公正な取引をし、仕入れ先などに対し、不当な値引きがないかチェックを行っている。 ・不正競争防止法に関するセミナーを受講し、不正競争行為に関与しないようにチェックする体制を整えている。										10												16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・企業活動の目的を社内内で共有している。 ・各部門の責任者を明確にし、フォロー体制が取れるチームを作っている。																							16
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・ホームページやSNS、メールなどセキュリティ強化を年に1回行っている。 ・店名やロゴ・キャラクターの使用ガイドラインを策定している。 ・知的財産に関する研修やSNS活用勉強会を実施している。								8.2 8.3	9													16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報掲載物は、所定の場所に保管し管理を徹底している。 ・個人情報保護の研修会を定期的実施し、入社時など情報漏洩防止の研修を行っている。																						16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・お客様アンケートなど、顧客の声を聴取し、双方向でのコミュニケーションに取り組んでいる。 ・取引先や行政機関など、ステークホルダーと連携した地産地消やフードロス対策の取組みを進めている。																					16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5				8		10		12	13	14	15	16	17					
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●												9		11			13.1							16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●											8	9													17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●		・フェアトレード商品コーナーを設けており、取扱商品数を増やしている。	1	2			5				8				12	13	14	15	16	17					
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・差別や各種ハラスメントの禁止について、就業規則に定めている。 ・差別やハラスメントに関する研修を実施し、相談窓口を設置している。 ・人権研修やハラスメント防止研修等を通して、差別やハラスメントを防止する体制を整備している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3											16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・労働安全衛生講習会を実施し、事故や怪我を防ぐ労働環境作りに取り組んでいる。 ・メンタルヘルスを確保するために、職場での心理的安全性の実現に向けた教育や啓発活動を実施している。			3					8.8															
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・従業員(正社員・スタッフ・パート社員)の公正な待遇を行っている。 ・【予定】令和7年6月までに、厚生労働省「同一労働同一賃金ガイドライン」に沿った体制の整備・運営を行う。					5.5			8.5		10.2 10.3													
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・残業時間の管理徹底や働き方をマニュアル化し、業務効率化による労働時間の短縮など働き方改革への取組みを整えている。 ・他部署とのシフトを共有化し、人手不足の部門を助けやすくしている。 ・有給休暇などの取得奨励を実施し、家事や育児、ボランティア活動への積極的参画などの環境を整えている。 ・よかボス宣言を行い、よかボス企業の登録を受けている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3													
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・新人研修(3日間)を行っている。 ・既存社員のフォローアップ研修を朝礼や部門ミーティング時に行っている。 ・研修体制の整備や必要経費の支給によって、外部研修の受講や各種資格の取得を奨励している。 ・良好な職場環境の醸成やスペシャリスト育成など、適切なマネジメントを実施できる教育を実施している。				4	5.5			8	9														
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		・朝礼時(毎月定期的に)にラジオ体操を行う等の健康増進への取組みを行っている。 ・健康診断の経費補助を行っている。			3						8													17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・【予定】令和7年6月までに、女性、男性どちらにも平等な育休制度導入に取り組む。 ・【予定】令和7年6月までに、定年制度を60歳から65歳に引き上げる。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3												16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●					3						8	9.1		11	12										
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●											8	9.1		11	12										
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●						3	4				8	9			12										

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・ゴミ排出量を把握し、各部門に開示することで、廃棄物削減に取り組んでいる。 ・有害化学物質を把握し、適切な管理及び処理に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・簡易計算シート等を用いてエネルギー使用量を算出しており、照明のLED化と太陽光パネルを設置し、オフィスの節電に取り組んでいる。 ・簡易計算シート等を用いてエネルギー使用量を算出しており、社用車のEV車を促進している。							7.3						13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・太陽光パネルを設置しており、積極的に節電に取り組んでいる。 ・事業活動温暖化対策計画書制度に基づく計画書を提出している。 ・簡易計算シート等を用いてCO2排出量を算出しており、社用車のEV車導入を促進し、CO2排出の抑制に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13		14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・量り売りを導入すると共にマイバッグやマイ容器(ボトル)運動を促進し、廃プラやレジ袋などの使用削減に取り組んでいる。 ・環境に配慮しプラスチックスプーンを有料化することで、生物多様性の保全に取り組んでいる。						6.6								14	15					
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・食品トレーの回収を行っている。 ・リサイクルできないトレーは回収時、選別している。 ・再生用紙の利用を推進し、裏紙の利用を促進している。 ・環境に配慮した材料や製品を販売し、生物多様性保全に取り組んでいる。 ・資源利用の削減や再利用を推進している。									9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・社内掲示により、「節水」や「汚水等の適切な処理」等を実施している。 ・事業所内設備に節水器具を使用している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・環境認証マークのついた商品や熊本県リサイクル製品認証製品の販売を促進している。 ・店で使用する洗剤・石鹸は無添加物の使用を促進している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・商品の種類と量をお客様のニーズ調査を行い、予約販売を推進することで売れ残り商品を2割削減している。 ・量り売りの促進を行っている。 ・フードドライブを設置している。 ・地域食堂などのコミュニティに、ロス間近な商品を提供している。	1	2					6.4						12.3		14	15			17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●														11.6 11.7		13.1 13.3		15			17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●			・ペットボトルリサイクルを促進し、プラスチックスプーンを有料化することで、海洋汚染や海洋ごみの削減に取り組んでいる。 ・量り売りを促進することで、プラスチックの使用削減と海洋ごみ削減に取り組んでいる。												12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●												9.4		11.2		13.1 13.3						
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2		

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

新規

事業者名: 株式会社ユーマートクナガ

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																															
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17															
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・HACCP品質マニュアルに準じて、高品質な製品提供を温度管理表によって確保し、異物混入と汚染防止をSSOPチェック表で管理することによって、安全性と衛生管理体制を徹底している。 ・アンケートの実施により顧客の意見を聞き、関係者で共有、活用している。			3.9										9								12.4											
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・お客様が気持ちよく買い物できるような店内掃除を実施している。 ・お年寄りのお客様には袋詰めサポートを行っている。 ・聴覚障がいのお客様には、手話やジェスチャーで接客を行っている。 ・身障者用トイレ、駐車スペースを設置している。													9.1	10	11.7													17				
	39	【地域資源】 ・産地地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●		・取引先の現状把握と整理及び熊本県内の生産者情報調査を行っている。 ・産地地消を推進し、熊本県内の生産者や取引先が5社以上増えている。												7.3	8	9			11.a	12.3	13	14	15					17					
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●															7								12.2	13.1			15						
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●															1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●		・自社オリジナル製品や消費期限前の食材を活かした総菜の商品開発を産学連携で取り組み、5商品以上開発している。																															
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・月に2回、地域清掃を行っている。 ・社会貢献団体の募金箱を設置している。 ・フードドライブを設置し、社会貢献活動に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17															
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・防災マップを把握する研修会や防災訓練を行っている。 ・自主防災組織を構成し、定期的に防火訓練や防災訓練を行っている。 ・事業所において、防災備蓄や防災グッズを常備している。				4																								16				
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●			1.5		3	4																10.2	11.5						13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●																																	
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●		・社員総会では毎年の経営方針にSDGsの取り組みを入れ込んでいる。 ・社内にSDGsチームを結成し、社員研修やSDGsの普及啓発を行っている。 ・お客様にSDGsの取り組みをポップで紹介している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17														
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●		・地元中学校のインターンシップ受け入れや高校生等のアート展示に取り組んでいる。 ・食育マスターが地元の魅力発信を行い、若者と商品開発を行うことを通じて、職業の学び促進を行っている。				4										8.6				10.2											17		
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●							4.4																								17		
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●		・食育マスターや部門毎の社員が、子どもたちに地元産の食材や生産者のことを知り学ぶ教育機会を作り、食の魅力発信に取り組んでいる。																															

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。